

2018.02.01 号 No.2

<UVSOR 施設からのお知らせ>

ユーザーの皆様

● Activity Report 2017 について

例年通り UVSOR における今年度(2017 年度)の研究成果のまとめとして UVSOR アクティビティレポートのご寄稿をお願い致します。締切は 2017 年 3 月 31 日(土)必着です。

詳しくは

<https://www.uvsor.ims.ac.jp/about/activityreport.html>

をご参照下さい。

ActivityReport2017 執筆要項「AC17_Guideline.pdf」(添付)を熟読の上、「AC17_Format.doc」に示された フォーマットに従って作成してください。アップロード可能期間は 2018 年 1 月 15 日(月)～3 月 31 日(土)となっております。

「Activity Report 受付ページ」よりアップロードをお願いいたします。アップロードの「ログイン手順」「執筆データ投稿手順」をご参照下さい。

また、例年通り

- ・activity report(A4,1 枚)の提出は義務付けられていること
- ・未提出の場合には次年度以降の審査で不利となる可能性があること
- ・論文を出版した場合には忘れずに報告すること

は変更ありませんので、皆様よろしくお願い致します。

● 未登録の論文の提出をお願い致します。詳しくは下記 URL でご確認ください。

<https://www.uvsor.ims.ac.jp/about/activityreport.html#papers>

今年度の編集担当は、藤本・大東です。質問等がありましたら、e-mail: mfmoto@(半角)ims.ac.jp TEL: 0564-55-7401 まで、お問い合わせ下さい。

UVSOR Activity Report 2017 編集委員会

2018.02.01 号 No.1

UVSOR 利用者懇談会次期世話人選挙の結果について

UVSOR 利用者懇談会事務局

先日行われました UVSOR 利用者懇談会

第11期(2018 年 4 月 1 日より 2020 年 3 月 31 日)世話人選挙 の結果をご報告申し上げます。

1/22 (月) に UVSOR にて、岩山洋士氏の立会いのもと、事務局担当の三人(秘書萩原、稲垣と伊藤孝寛)が開票致しました。

結果:投票総数 89票でした。

- 1.木村真一 34 *かつて UVSOR 施設に職員としていた会員
- 2.伊藤孝寛 31 *かつて UVSOR 施設に職員としていた会員
- 3.福井一俊 28 *かつて UVSOR 施設に職員としていた会員
- 4.彦坂泰正 19 *かつて UVSOR 施設に職員としていた会員
- 5.解良聡 14 *現分子研職員

- 5.田中慎一郎 14 *かつて UVSOR 施設に職員としていた会員
5.保坂将人 14 *かつて UVSOR 施設に職員としていた会員
8.岡林潤 12
9.全炳俊 11 *かつて UVSOR 施設に職員としていた会員
10.山根宏之 10
11.近藤寛 8
11.松波雅治 8 *かつて UVSOR 施設に職員としていた会員

- 13.金安達夫 7
13.中川剛志 7
13.長坂将成 7 *現分子研職員
13.宮崎秀俊 7

申し合わせにより、かつて UVSOR 施設に職員としていた会員 または分子研現職員は上位2名までが当選とされております。

選挙結果の上位 12 名中該当者は 9 名となっていることから、選出された方々は木村先生、伊藤先生、岡林先生、山根先生、近藤先生となります。

また、申し合わせでは不測の事態に備えて上位7名を公表ということになっておりますが、13 位まで公表させていただきました。

同点でかつ制限事項に抵触する場合のルールについては世話人会で協議させていただきます。

なお、会長・事務局に関しましては世話人で互選ということになっております。

会長:木村真一、事務局:岡林潤

と決定されました。

以上、UVSOR 利用者懇談会世話人選挙結果でした。皆様のご協力・ご支援 に感謝いたします。

今後ともなにとぞよろしくお願いいたします。

UVSOR 利用者懇談会事務局

2017.11.16 号

<UVSOR 施設からのお知らせ>

ユーザーの皆様 先日の UVSOR シンポジウムには多数の方にご参加、発表、討論いただき誠にありがとうございました。UVSOR シンポジウム担当者一同

UVSOR 利用者懇談会事務局

2017/10/29、UVSOR シンポジウム 2017 と合わせて行われました、UVSOR 利用者懇談会の議事録について報告いたします。内容については基本的に会の流れに沿って、話題ごとのソートは行わずまとめています。雑多な報告となってしまう申しわけありませんが、ご確認ご参考いただけますと幸いです。また、議事内容について問い合わせなどありましたら、事務局伊藤 (t.ito@numse.nagoya-u.ac.jp)までご連絡ください。以上、よろしくお願いいたします。

伊藤

----- UVSOR 利用者懇談会総会

日時:2017年10月29日 (日)11時00分-12時00分

場所:岡崎コンファレンスセンター中会議室

1. 会長の挨拶

・2017年度末に次期 UUN 世話人の選出にかかる選挙を実施予定。協力をお願い。

2. 施設からの連絡(順不同)

・ユーザーの増大、BL2B 駆け込み利用、オフライン ARPES 利用などにより旅費枠が不足気味。

そのため、総マシントimeに対するバランスを考えて、旅費の配分を複数の課題で受けている場合には上限を設けたり、UVSOR 利用にかかる科研費、研究費を獲得しているユーザーに対して審査優遇の代わりに旅費サポートなし、とする可能性もありうる。今後、旅費不足の経年変化も見ながら判断する予定。

・申請審査について、S,A 課題は全体の6割程度。

・次回マシントime申込期限は12月8日。

・ユーザー控室におけるロッジ宿泊の個人情報については秘匿性を保持する対応をした。

・実験報告書で要望などを積極的にだしてほしい。施設側の対応はその都度検討する。

・線量計の故障、不具合が多発している。その場合、放置せずに必ず知らせて欲しい。また、電池取り替えの際に無理な力がかからぬよう注意して欲しい。

3. ユーザーからの発言および回答(Q&A 形式:順不同)

Q1: 運転時間や年間スケジュールに変更はないか。

A1: PF の現状を見ての質問だと思うが、UVSOR の場合、運転経費の予算は安定しているので、加速器の重大故障がない限り、今後も年間の総運転時間に変更の予定はない。

Q2: 低エネルギー蛍光 XAFS 測定ソフトの改善をお願いしたい。

A2: 他施設でできていることなので、測定ソフトを早急に改善する予定。

Q3: 新 BL5U のスピン分解実験の実装予定は。v A3: BL5U はユーザー利用の合間で調整している関係で遅れているが、来年度後期を目指している。

Q4: 施設から、BL2B の壁側にあるリング室共通カラーレーザープリンタの利用実態の問い合わせ。

A4: (ユーザー側から使っているとの返答もあったが、総会の雰囲気ではあまりユーザーに存在が知られていない様子もあったことから施設側として)リング室共通プリンタの利用率が上がるようアナウンスをする。

Q5: スタッフ数が不足しているのではないか。

A5: 技術職員の補充を図る方向で検討中。新規導入の主任研究員ポストも埋めていく予定。

Q6: 夜間運転のある木曜日夜に仮眠室がほしい。

A6: 職員用仮眠室は用意されているが、ユーザーの仮眠室についてはユーザー控室がある棟の改修が済んだ後に対応を検討する。=>放射線手続きの関係上、長時間の連続入室は控える必要があり。リング室での仮眠は避けてほしい。

Q7: 夏場に飲料の自販機の売り切れがつづいて困った。関連して、食品(パン、カップ麺など)の自販機を導入できないか。

A7: 不明だが確認してみる。=>確認した結果、業者との契約上の問題があり、個別対応はできないことが判明。職員会館の2階にある生協(11時~17時開店)を利用して欲しい。

Q8: 近くのコンビニが閉店したこともあり、買い出し用にユーザー用の自転車を配備できないか。

A8: 管理上の問題があるが、検討してみる。

Q9: テニスコート近くの東門の暗証番号を知りたい。

A9: セキュリティの問題があり公開情報ではないため、各自で UVSOR 職員に確認を。

以上

<UVSOR 利用者懇談会からのお願い>

本年度内に実施される UVSOR 利用者懇談会世話人選挙に先立ち、懇談会登録会員の確定及び所属等の会員情報の確認を行っております。会員の皆様にはお手数ですが確認メールを送らせていただいておりますので、ご確認の上、返信を【12月1日(金)】までお願いいたします。また、まだ登録されていらっしゃる方は下記より登録をお願い致します。

https://www.uvsor.ims.ac.jp/uvSOR_news/contact.html

なお、UVSOR 利用者懇談会には、会費はありません。UVSOR の利用課題の提案代表者の方は自動的に UVSOR 利用者懇談会に登録させていただきます。登録されていることに不都合がある場合は【uvSOR@ims.ac.jp】にご連絡ください。

皆様のご協力をお願い致します。

<UVSOR 施設からのお知らせ>

平成 29 年度共同利用研究公募について

2018 年度(平成 30 年度)前期(通年)の共同利用申請の受付が始まっております。申請は WEB で受け付けることになっております。詳細は下記をご覧ください。

<https://www.ims.ac.jp/guide/30zenki/index.html>

申請は【12月8日(金)17:00】締切です。皆様お忘れのないようお申し込みください。

以上、施設からのお知らせでした。

2017.08.28 号

<UVSOR 施設からのお知らせ>

ユーザーの皆様

● UVSOR シンポジウム 2017 について

UVSOR シンポジウム 2017 の参加受付 HP をオープンしました。

下記よりご登録をお願い致します。詳しくは

[URL: http://registration.ims.ac.jp/UVSORSympo2017/](http://registration.ims.ac.jp/UVSORSympo2017/)

をご覧ください。

会議名: UVSOR シンポジウム 2017

開催日時: 2017 年 10 月 28 日(土) 13:00 頃 - 29 日(日) 12:00 頃

受付開始は 12 時 15 分より岡崎フォンファレンスセンター 2 階小会議室前にて

開催場所: 岡崎コンファレンスセンター

主催: UVSOR シンポジウム 2017 実行委員会

[委員: 藤本将輝, 大東琢治, 福井一俊, 伊藤孝寛]

共催: 分子科学研究所極端紫外光研究施設(UVSOR)、UVSOR 利用者懇談会

参加締切: 10 月 6 日(金)

なお、ご不明な点は担当者藤本 (mfmoto[at]jims.ac.jp)までお問い合わせください。([at]を@に変更してください。)

皆様のご参加を心からお待ちしております。

- 後期ロッジ予約について

平成 29 年度岡崎共同利用研究者宿泊施設後期分(平成 29 年 10 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日) 短期予約受付の開始が始まっております。

後期は研究会等で大変混み合いますのでマシントイムが決まりましたら早めのご予約をお勧め致します。

以上、施設からのお知らせでした。

2017.07.14 号

< UVSOR 施設からのお知らせ >

ユーザーの皆様

- UVSOR シンポジウム 2017 について

今年度の UVSOR シンポジウムは 10 月 28(土)-29 日(日)に決まりました。詳細については後日ご案内させていただきます。皆様ご参加していただけますようよろしくお願いいたします。

- 停電について

上記シンポジウム期間中 10 月 28 日は明大寺地区終日(8:00-17:00)停電、29 日は UVSOR 棟停電(8:00-11:00)となります。明大寺ロッジ、三島ロッジ、岡崎コンファレンスセンターは停電にはなりません。

- マシントイムについて

上記停電に伴い 10 月 23 日の週のマシントイムは月曜日から木曜日と変更になりますのでこの週の利用の方はご注意ください。後期分ですのでこの週に当たられた方々には別途ご連絡いたします。

- ネットワーク利用について

以前より、所属機関が eduroam に参加されている機関の方は、分子研内、岡崎コンファレンスセンター、三島ロッジいずれにおいても eduroam アカウントを使って無線 LAN に接続できますので、ゲストネットワークアカウントの利用申し込み手続きの省略化にご協力下さい(ゲストアカウントが不要を選択)。

- 日本放射光学会次期会長に小杉信博教授・UVSOR 施設長が選出されました。

以上、施設からのお知らせでした。

2017.06.14 号

< UVSOR 施設からのお知らせ >

ユーザーの皆様

<< 後期施設利用・協力研究の一部変更について >>

現在、6月30日 ~~まで~~で今年度後期の共同利用申請の受付を しておりますが、以下の変更がありますので、ご注意ください。

【BL3U】 協力研究(小杉G)から施設利用に切り替わります。

溶液などのその場観測・オペランド軟X線分光ラインで30ミクロン程度の顕微分光も可能です。採択済みの通年の協力研究(小杉G)は後期も有効ですが、それ以外の後期分はすべて施設利用での受付になります。

【BL6U】 繁政准教授は10月よりUVSOR施設を離れるため 所内ルールに従い、協力研究(繁政G)の実施は不可能になりました。後期からは、協力研究(解良G)と(小杉G)だけになります。

<<新規ビームライン計画>>

【BL2B】 現在の有機固体電子分光ラインを来年度中に停止して新たに真空紫外光分光ラインを建設する予定です。その後、momentum microscopeとよばれている最新鋭の顕微ナノイメージングが可能な電子分光装置を接続する予定です。

<<人事公募>>

現在、主任研究員(任期なし、定年制)を2名公募中です。UVSOR-IIIでは、中長期的に光あるいは電子による顕微ナノイメージングを柱に据えており、その方向性に従って国際連携のもとに技術開発及び利用研究を主導する 人材を求めています。詳しくは以下をご覧ください。

<https://www.ims.ac.jp/recruit/2017/06/170810.html>

https://www.ims.ac.jp/publications/letters75/75_4.pdf

以上、施設からのお知らせでした。